

第177回 関西広域連合委員会

日時：令和7年5月29日（木）

場所：アオアヲナルトリゾート

2階 ボールルーム 海天

開会 11時10分

○三日月広域連合長 潮の香りと波の音がとっても印象的なこの徳島県鳴門市で第177回広域連合委員会を開催させていただきます。

今日は万博のテーマもございますし、この後、近畿ブロックの知事会議も行われますので、福井県の杉本知事、三重県の服部副知事にも御参加いただきますので、よろしく願いいたします。

それでは、まず開催地として、様々な御配慮、御苦劳いただきました後藤田徳島県知事から御挨拶をいただきます。

○後藤田委員 皆様、ようこそ徳島にお越しいただき本当にありがとうございます。遠いところ本当に感謝申し上げます。またそれぞれ自治体では6月議会、いろんな御準備で大変な時期だと思います。本県は四国の玄関口ということで四国4県の代表としても関西広域連合に参加をさせていただいているという自負がございます。鳴門がまさに徳島の中でも玄関口の玄関ということで、鳴門の大塚国際美術館も大変有名でございますが、戦時中に板東俘虜収容所で、ドイツ兵捕虜へ人道的な支援が行われたことも背景に、ドイツの方々が第九を演奏してくださり、帰国されたと。こういうことでアジア初演の地が徳島の鳴門であるという歴史もございます。また、今日お越しの杉本知事はもともと徳島市に御出向、30年以上前ですよ、お世話になって。実は島根県の丸山知事も徳島市、そして愛知県の大村知事も徳島市にそれぞれ御出向経験があり、今徳島があるのは杉本知事のおかげであるということでございます。是非今日のみならず、今週末は鳴門で女子プロゴルフの「リゾートトラストレディース2025」が

開催されておりますので、またそんなことも含めて、今後とも徳島県をよろしく願います。今日は本当にありがとうございます。

○三日月広域連合長      ありがとうございます。

様々な御準備いただいたことに加えて、この会場の前には徳島県のいろんなもののPRブースコーナーもありますので、是非皆さん、お手に取って御覧いただければと存じます。

また本日は、ワールドマスタースゲームズ2021関西組織委員会の木下事務総長に御出席をいただいております。御紹介いたしまして、後ほどその議題のときに御挨拶をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは次第に沿って進めます。まず「大阪・関西万博 関西パビリオンの状況等について」を議題とします。この議題は、大阪・関西万博 関西パビリオン企画委員会として開催することといたします。まず本部事務局から御説明をお願いいたします。

○本部事務局      資料1を御覧ください。

別紙1でございます。これまでの「来館者の状況」でございますが、5月26日の月曜日までの速報値でございますけれども、44日間で累計33万5,000人が来館いただいております。万博全体からしますと7%というところです。昨日、大阪パビリオンさんが100万人を突破する記念をされております。実は我々も小さい館ですが5月22日に40日目としまして、30万人の記念行事をしたところです。内訳等については記載のとおりですが、隠れた人気館になっているということもございまして、来館者数がどんどん増えてきているところです。こういった状況ですので今後また来館者数を都度、御報告をいたしますが、まだまだ伸びてくると思います故、今後例えば、50万人、100万人というような節目でもって、また記念行事をさせていただきたいと考えています。

なお、別紙2以降につきましては、関西パビリオンのキービジュアル、美しい写真を準備しています。各県や各マスコミにおかれましても御活用いただければと思い

ます。

以上でございます。

○三日月広域連合長      おかげさまで大阪・関西万博全体としても大変多くの方が御来場、またお楽しみいただいているという状況がございますし、関西パビリオンにつきましても隠れた人気館という、ちょっと謙虚な言い方がありましたけれども、大変多くの方がお越しいただいているということでございます。

何か皆様方のほうで御意見や御質問等ございますでしょうか。

前回この場で提起のあった、もう少し多くの方にお楽しみいただける状況を作れないかといったことにつきましては、現在、お待ちいただく時間に様々な御紹介をするデジタルサイネージの設置でありますとか、またそれぞれの府県のブースの時間を少し回転よくすること、御来場いただく人数を少し増やしていく取組なども順次検討して実施しようとしているところでございますので、併せて御紹介をさせていただきます。

特にないようでしたら、今後、さらに暑くなってきますので、お待ちいただく状況の誘導、サービスの向上等を図っていくと同時に、この関西パビリオンは各地へのゲートウェイにしようということで設置したものでございますので、どれぐらいの方へそういったゲートウェイとしての誘いとして効果が発揮できているのかということも調査・分析手法も含めて検討して、皆様方と共有していきたいと思っておりますので、よろしくお願いをいたします。

それでは、この議題は以上といたします。引き続きのお力添えよろしくお願いいたします。

次に、「ワールドマスタースゲームズ2027関西大会の開催に向けて」を議題といたします。先ほども御紹介いたしましたとおり、組織委員会の木下事務総長にもお越しいただいておりますので、まず御挨拶をいただきます。

○木下事務総長      木下でございます。よろしくお願いいたします。

日頃本当に、ワールドマスターズゲームズについては各府県市からも御協力いただいていることは私もよく承知しておりますけど、いよいよ開会が間近に迫っておりますので、今日は皆さんにお願いを兼ねて、自らももちろん頑張らなきゃいけないと思いますけれど、やってまいりたいと思います。時間も限られているようですし、それから後ほどの報告なり説明もありますので、私は3点に絞ってお話を簡単にさせていただきます。

一つは、先刻御承知だと思いますけれど、なぜこんな2027年までその開催が延びてるかという背景をちょっと一言、歴史的に申し上げます。実は、御案内だと思いますけど、もう記憶の中から遠ざかっているかもしれませんが、ラグビーのワールドカップが行われまして大変日本中、今まで「ジャッカル」なんていうのは皆さんあまりご存じないようなゲームであったんですけど。それからオリンピック、これは実は無観客で開催したということで、2019年あるいは2020年の頃は大変な混乱という言い過ぎになるかと思いますが準備の中では苦勞したわけです。そしてその翌年に2021年当初は、ワールドマスターズゲームズをやる予定であったんですけども、それが延びた背景は手短に申し上げますと、やはり今までのスポーツは見るスポーツが中心だったんですが、いや、それだけじゃないだろうと。これから高齢化していきますし、生涯スポーツということで皆さんにスポーツをやっていただかなきゃいけないということ。そして地元とやはり交流することが本来の意義じゃないかということも考えておりまして、従って一挙に2027年まで延びたわけであります。ちょっと余談でありますけど私もそのときに、それまで総長をやるかなって言われておりましたので、今腰は曲がっておりますけど何とか気合だけは負けないでやっていきたいと思っております。それが簡単でございますが歴史です。

2点目は、体制として今まで御案内かと思いますがも各国で順繰りにやってまいりました。主として、オセアニアとかアメリカとかそういうところでありましたけども。今度、我が国でやるに当たっては、共同開催といいますか、多くの公共団体の

御協力を得て、広い広域的な展開をしていこうじゃないか。あるいは先ほど申し上げましたように、今までは少し金のかかり過ぎなスポーツが多かったんじゃないかという事を言われておりますけども、今回は、多少はやらなきゃいけないところもあると思いますけれど、新しいスポーツをやっていきたい。それは各府県市にもお願いしてますが、ローカスポンサーも探し、あるいは各公共団体の方々の知恵比べをしていただかなきゃいけない。そういう中で盛り上がって行って、さすが関西で行ったワールドマスターズゲームズは今までのマスターズとは違うぞということをおいでになった方々に認識いただくような、そういう企画を持っておりますので、残された2年の間にそれを仕上げていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

3点目は、これはお礼でございますけれども、先般も西脇団長をはじめ齋藤知事その他おいでいただき、今台湾で行われております大会に御参加いただきました。向こうといろんな交流もしていただいたし、プロモーションもやって関西のPRもしていただいたんですが、こういうような言わば都市と都市との付き合い方というものが私は大切だと思いますし、長期になりましたので経費をできるだけ節約するようということで縮減しておりました体制を、今度は20人を超えるような体制の中で準備をやってまいります。第4コーナーを回りまして、私はいつも三日月会長からは気合を入れられているんですけど、どうも私が鈍いもんですからなかなか会長の意向に沿っているかどうか非常に不安な中で、よちよち歩きでございますけど、「やってよかった」という大会をやりたいと思います。先ほど申し上げましたように各府県市の知恵比べで、もちろんお金をかけることも必要なところもあるかと思いますが、知恵を創って、オリンピック並みに35競技59種目という競技をやっていくわけですから、私はこれは大変な皆様方の御努力、御協力がなければ成功しないと思います。是非2027年の5月の末にはみんなで「やっぱりやってよかったな、もう一回やろうじゃないか」というレガシーを是非創りたいと思っています。ちょっと話が長くなりましたけれどもこういう中で取り組んでおりますので、さらに皆様方に御協力をいただきながら、

この関西における新しいスポーツ・文化を創っていくということで、御協力いただきたいと思います。

簡単でございますが、お礼かたがた御挨拶をさせていただきました。よろしくお願いいたします。

○三日月広域連合長　　今、御挨拶をいただいた上で資料も用意されているようでございますし、今お話にあったように延期されて、いよいよ体制を增強していただいて準備、本格再起動という段階に入りました。台北市・新北市大会が行われて、その次の大会が関西大会だということもございますので、そういった事々につきまして、少し御確認をいただきたいと思います。

組織委員会から御説明、よろしくお願いいたします。

○ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会　　資料2を御覧ください。1枚めくっていただきますと開催概要を書いてございます。

予定としましては、2021年大会とほぼ同じ5月14日スタートの30日という形で考えているところでございます。

2ページを御覧ください。

開会式・閉会式につきましては、アフターコロナの現状から、少しありようを変えていこうと検討しているところでございます。基本的には、これまで競技場であったり、アリーナで開会式・閉会式を開催し、いわゆる体育大会の方式を採っておりましたが、もう少し市民も参加する、しかも文化的なイベントとして実施できないかということを検討しているところでございます。具体的な会場につきましては、また決定次第御案内を差し上げたいと思いますが、開会式については京都市内、そして閉会式については大阪市内で検討しているところでございます。

3ページを御覧ください。

これまで競技運営を、2021年大会のエントリーを踏まえて人気のある競技について何とか参加枠の拡大というものを今検討しております。例えば、陸上のトラック競

技であったり、水泳、競泳については非常に参加希望者が多いございます。通常の多く会場設営だけでは全てを賄うことはできませんが、まだ可能ならばというレベルではございますが参加枠を、例えばエリート競技とファン競技というようなことに分けられないか、こういった点を今現在検討しているところでございます。それから一部競技会場でもさすがに6年を経てまいりましたので、廃止しておられる会場もございますので、これについては、振替も実施をしているところでございます。例えば、カヌーポロにつきましては、福井県のあわら市にお願いしたいというようなことを考えているところでございます。

4 ページでございます。

「現在の準備状況」でございますが、今まさにPRを本格化させようというところでございます。台北大会が終わり次第、PRの本格化を図りたいというように考えています。

5 ページでございますが、「エントリーシステム」につきましてもさすがに6年を経ましたので、もう一度構築せざるを得ません。そこで、これにつきましてはコストを最小限にしながら、現在プロポーザルを実施しているところでございます。

6 ページにつきましては、台北市・新北市大会での我々のPR状況を書いています。相当人気が高まったもののこれからというところでございます。

7 ページでございますが、大会のエントリー費用ですが、6年を経過しましたが我々としては国内参加者1万5,000円、海外参加者2万4,000円という金額は変えずにこれで行こうというふうに考えております。全体的な収支予測としては、これで大会開催は可能な状況でございます。併せて組織委員会も拡充をしています。

8 ページでございます。

参加者5万人というのはワールドマスターズ史上最大の大会になります。これに向けて、今現在細かな票読みをしているところでございます。これから相当頑張らねばというところではございますが、国内については1万5,000人ほどの上乗せ、そし

て海外については6,000人から8,000人程度の上乗せをして、5万人を達成しようではないかというところを考えています。

最終ページ、9ページになりますが、これは関西パビリオン、大阪・関西万博の会場を使つてのPRを6月に実施してまいりたいと思っております。2足歩行型のロボットの着ぐるみを作りました。これで真夏であっても活動はできますので、こういったことを進めてまいりたいと、このように考えています。

以上でございます。

○三日月広域連合長 現在の準備の状況や考え方等について御説明がございましたが、何か全体を通じて御意見や御質問等ございますでしょうか。

今年は世界陸上、またデフリンピックもありますので、確かに参加する人の層は違うんですけど、そういったところでもPRをしようじゃないかということとか、今御紹介ありましたけども大阪・関西万博でもやはりPRをするということですね。エントリーシステムを再構築してやるということで、国内から3万人、海外から2万人という参加、そして開会式は京都市で、閉会式は大阪市でということで、2年後の5月14日から30日、17日間ということで開催準備を本格化してまいりたいと思いますので、皆様方よろしく、御準備、お力添えいただきますようお願いをいたします。

特にないようでしたら、この内容で御確認いただいたものといたしまして、是非今後ともよろしく、お力添えをお願いいたします。

次の報告事項も関連いたしますので、これも御説明いただいた上でやり取りをさせていただきたいと思います。

まず西脇副広域連合長、お願いいたします。

○西脇副広域連合長 資料3を御覧いただきたいと思います。

ワールドマスターズゲームズ2025台北市・新北市大会の開会式に合わせて訪問団を結成し、2027関西大会への呼びかけとか関西観光のプロモーションを行ってまいりましたので、御報告をいたします。

私が三日月広域連合長に代わりまして団長を務め、副団長の齋藤知事、平井知事をはじめ関係府県市の副知事や、町長、組織委員会の方など総勢37名で訪問をいたしました。まずは、御参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。

まず、I M G A、国際マスターズゲームズ協会のブブカ会長と面談をいたしました。そこでは、ウクライナ出身ということなので、そのお見舞いの言葉を述べますとともに、関西大会が、2021から延びて、また2027という非常に短い間隔で実現したことに対する感謝を申し上げました。会長からは、我々の訪問を非常に高く評価をしていただくとともに、5万人の参加目標、頑張ってくださいという、非常に強い期待も示されまして、今後の更なる相互協力も確認をいたしました。

また、その後、台北市の蔣万安（チャン・ワンアン）市長との面談では、これまでの台湾との友好関係に触れながらも、今後の連携強化についての意見交換も行わせていただきました。その後、観光プロモーションとして昼食交流会を実施いたしまして、これは台北市副市長の張（チャン）さんが来られまして、新北市の観光旅游局の副局長の他、KANSAI観光大使をやっていただいています温（ウエン）氏、それから旅行業界の関係者に参加をいただきまして、構成府県市の皆様から、観光資源などについてのP R、私からは、2年後の関西大会への送客と関西各地への周遊を促進するための旅行プランを是非、造成してほしいと、それから台湾と関西との交流の更なる活発化についてお願いをさせていただきました。副市長からも、相互交流を更に活発化させたいというお言葉もいただきましたので、有意義なプロモーションになったのではないかと考えています。

その後、ワールドマスゲームズの選手のサービスセンター、受付のところですね、その関西ブースでは、鏡開きと、日本酒の振る舞いとか、グラウンド・ゴルフの試打などを通じまして、選手、その御家族、ボランティアの皆様とも交流を深めさせていただきました。非常に多くの方が、関西大会への関心を示しておられましたので、期待が大きいなということを実感させていただきました。

その後、開会式典でスコールが降りまして、パレードの出発が1時間延びたのですけれども、1万4,500人の参加者がパレードを行った上で、台北ドームで開会式典が行われまして、スポーツのイベントなのですけれども、それ以外の文化関係の方とか、様々な方が出演されるすばらしい演出が台北ドームで行われました。

その後は、各競技会場の視察を行いまして、各会場での運営体制とかボランティアの方、また観光案内の多言語化対応などということで、参考になる点が数多くございました。

今回の訪問を通じまして、2027関西大会に向けた、国際的な連携の強化が必要だと思っております。過去も直前の大会の国からの参加者が非常に多いということが言われておりますので、台湾の方に対する、そういう働きかけもこれからは必要だと思っておりますし、関西の魅力発信の重要性も改めて認識をいたしました。特に競技団体等もたくさんございますので、そのあたりとの連携も必要かなと思っております。今回の訪問で構築いたしました、新しいネットワークも活用しながら、三日月広域連合長のもとで、大会の成功に向けて取り組んでまいりたいと考えておりますし、何といたしましても、競技団体も含めてたくさん関係者がいますので、そうした人たちが心を一つにして取り組んでいくことが重要だと痛感いたしました。

観光プロモーションについては資料4にも詳細をまとめてますので、後ほど御覧いただければと思っております。

私からの報告は以上です。よろしくお願いします。

○三日月広域連合長      ありがとうございました。

台北市・新北市大会での様々なプロモーション等の取組、とても華々しい開会式典の様子なども写真を含めて御紹介いただきました。

どうぞ、齋藤委員。

○齋藤委員      西脇団長と共に、台北市・新北市大会に行かせていただきました。開会式は大変盛大に開催されておりました。そういったことを踏まえて、この関西大会

もししっかり盛り上げていくということが大事だと思いますし、先ほど木下事務総長におっしゃっていただいたとおり、大事なものは知恵と工夫をいかに使っていくかということになりますので、この資料の２ページになりますけれども開会式、閉会式がそれぞれ京都市内や大阪市内で日本らしさ、そして関西らしさを出してやっていくということとともに、やはり分散型でそれぞれの自治体や地域で競技が開催されますので、例えば、兵庫県であれば兵庫県とそれぞれの競技が開催される市町村との連携で、地元でのホスピタリティというものをしっかり準備をしていくということが参加される国内外の方にとっても満足度が上がることになると思いますので、そういったところの工夫を、これも既に大会の基本方針には明記されていると思いますけれども、そこをしっかりと開催自治体でのおもてなしということをやっていくと。それは手作り感があるものでいいと思いますので、それを是非やっていくことが大事だと思います。

○三日月広域連合長      ありがとうございます。

どうぞ、竹内副委員。

○竹内副委員      開会式は京都市で予定されております。関西の魅力を世界の方々に発信し、盛り上げていきたいと思います。

○三日月広域連合長      ありがとうございます。

ほか、何かございますでしょうか。

いよいよ台北市・新北市大会の次は関西大会ということで、この台湾での大会でも２万人を超える方が参加されているということですし、この次の大会に行こうという人が多いということで言えば、この台湾でのPRがとても重要だということでございますので、間もなく開催される閉会式も関経連の松本会長をはじめ、この関西広域連合の中からもまた御参加いただいて、PRや呼びかけ等をさせていただくことにいたしますので、是非本格的に進めていく準備に市町含め、競技団体含め盛り上げやおもてなしに是非万全を尽くしていきたいと思います。

○木下事務総長      明日、大会旗を引取りに行つてまいります。

○三日月広域連合長　　総長も現地に行って、いよいよ大会旗を引き継いで帰ってきていただきますので、よろしくお願いをいたします。

ほかにはないようでしたら、この話題を以上とさせていただきます。それでは、みんなで力合わせて頑張っていきましょう。ありがとうございました。

○木下事務総長　　よろしくお願いいたします。

○三日月広域連合長　　どうも、ありがとうございました。

それでは「医療搬送用ヘリコプターの事故を受けた関西広域連合管内ドクターヘリの点検・検査について」を議題といたします。

広域医療局から説明をお願いいたします。

○広域医療局　　資料５を御覧ください。

広域連合管内のドクターヘリと同系列機を運航しておりました民間の医療搬送用ヘリコプターにおいて事故が起これまして、航空法を所管する国土交通省からの指示により広域連合管内のドクターヘリについて点検・検査を行っておりますので、状況について御説明いたします。

まず、「１ 経緯」でございます。４月６日に、民間の医療搬送用ヘリが不時着水する事故があり、その後、事故調査を行っている運輸安全委員会からの情報提供を受けまして、国土交通省は広域連合管内のドクターヘリ運航委託先であるヒラタ学園を含む事故機と同系列機の所有者に対しまして、５月２日と９日の計２回、耐空性改善通報を発行し、機体の点検検査を求めているところでございます。この事故機と同系列機の機種状況につきましては、紙媒体でお手元にお配りしております資料５参考資料を御覧ください。

関西広域連合及び近隣地域におけるドクターヘリの機種状況でございます。黄色の星印が事故機と同系列機のドクターヘリでございます。関西広域連合管内の８機全て該当しております。近隣地域では、愛媛県、広島県、三重県のドクターヘリが同系列機となっております。

資料の1ページに戻っていただきまして、「2 国土交通省からの指示事項と対応状況」について御説明します。5月2日の指示事項におきましては、事故機において「テール・ローター・コントロール・ロッド」の前半部が破断していたことが判明したという運輸安全委員会からの情報提供に基づきまして、次回の飛行時まで「テール・ローター・コントロール・ロッド」の点検及び必要に応じた交換を行うように求められております。右側が対応状況でございます。広域連合管内での使用中の8機全てが点検対象であることから、ドクターヘリの運航委託先において5月3日に点検を実施しまして、点検箇所の問題がないことを確認しております。

次に表の下段、5月9日の指示事項では、メーカーであるエアバス社の点検速報及び欧州航空安全庁からの耐空性改善通知に基づきまして、今後飛行時間が50時間に達するまで、もしくは3か月以内にコントロール・ロッド前方部の非破壊検査及びテール・ローター操縦系統接合部の検査等を行うように求められているところでございます。右側が対応状況でございますけれども、広域連合管内の使用中的8機のうち型式等が異なり、検査対象外となる2機を除く6機が検査対象となります。一部の検査項目については外部機関での検査が必要なため、現在、運航委託先において日程を調整中でございます。また、更なる安全性を確認するため国土交通省からの指示事項に加えまして、運航委託先において関係箇所の自主点検・検査を計画しておりまして、既に2機について点検等を実施済みであり、問題がないことを確認しております。

「3 今後の対応」についてでございます。引き続き、構成府県のドクターヘリ関係者と連携の上、運輸安全委員会の調査を注視しつつ必要な点検・検査等を実施し、ドクターヘリの安全運航を徹底してまいります。

なお、口頭ではございますけれども、関西広域連合内のドクターヘリ8機の運航委託先でありますヒラタ学園におきましては、昨年度、不適切な整備等が行われたことが確認され、令和6年5月28日に大阪航空局から事業改善命令等が出されたことから、委員会において随時状況報告をさせていただいたところでございます。去る令和

7年3月25日にヒラタ学園から大阪航空局に対しまして、再発防止策の報告がなされ受理されており、現在、組織改革やシステム導入を含めた再発防止策に沿って実行されているところでございます。一方で、再発防止策としては、一定の区切りを迎えたものの、更なる確認が必要であると考えておりまして、引き続き対策チームにおいて実施状況をフォローし、確認を継続してまいります。

今後とも、ドクターヘリの安全な運航管理、整備体制の確保に努めまして広域医療体制の充実・強化を図ってまいります。

以上でございます。

○三日月広域連合長　　今説明のあった内容について、何か御意見、御質問等ございますでしょうか。

委託先であるヒラタ学園の様々な事々について、我々も対策チームを作って検証・点検をしているという最中、長崎県の沖合で大変痛ましい不時着水事案があって、3名の方がお亡くなりになるということを受けて、また点検・検査をする必要が生じております。大変、重要なこのドクターヘリでございますが、飛べない期間は広域で連携し合って、いざというときには補完し合う体制も取っているところでございますので、この辺り広域連合内もそうですけれども、広域連合外との連携も含めてしっかりと体制を取っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

特にないようでしたら、この内容を御確認いただいたものといたします。

次に、「イル・ド・フランス州 ヴァレリー・ペクレス議長との会談結果について」、本部事務局から御説明をお願いいたします。

○本部事務局　　資料6をお願いします。

フランス共和国のイル・ド・フランス州 ヴァレリー・ペクレス議長と三日月広域連合長、西脇副広域連合長が会談を行いましたので、その概要を報告いたします。

経過といたしましては、令和元年10月に西脇副広域連合長がフランス、イギリスでトッププロモーションを実施した際に、イル・ド・フランス州と観光分野における

協力・活動展開のための覚書を締結いたしました。このことを踏まえ、両者の今後の協力関係の発展に向け、会談を実施したものでございます。5月14日に滋賀県大津市において会談し、今後、連携・協力の拡大を検討していく分野の候補といたしまして、観光分野、スタートアップ支援等の産業振興、環境保全、温暖化対策等について意見交換を行いました。また、将来再会し、新たな協定を結ぶことを願い、寄せ書きも行いました。

説明は、以上でございます。

○三日月広域連合長　大阪・関西万博で御来阪されるということもあって、先方からの申出もあり、また西脇副広域連合長が以前行っていただいて観光分野の協定を結ぶ覚書を交わしているのですけれども、さらに広げて議論しないかという提起もあったものですから、こういった機会を持たせていただきました。

どうぞ、西脇副広域連合長。

○西脇副広域連合長　同席いたしましたので、若干補足をいたしますけれども、元々、観光分野で覚書を結んだのですけれども、観光分野について言えば、イル・ド・フランス州というのはパリを含んだ州なので、やはり観光客がパリに集中している状況をどう分散しようかという問題意識があるので、私の方から、関西広域連合で取り組んでいる「THE EXCITING KANSAI」という京都・大阪の一部への観光客の集中をできるだけ広域周遊するということを御紹介いたしました。

私が印象深かったのは、スタートアップ支援について相当関心が強くて、来年、向こうで開催する「Viva Tech」というのに、是非、関西のスタートアップにも参加してほしいということだったので、これは広域産業振興局で対応していただいていると思うのですけれども、観光だけではなくて、広げていくような感触を得させていたいたと思っています。

○三日月広域連合長　今、西脇副広域連合長がおっしゃったスタートアップについてはとても強い関心が示されましたし、このイル・ド・フランス州というのは、とて

も水の多いところで水環境保全のテーマについても議長自らがいろいろと御関心を示されていまして、関西広域連合としてもできることは観光以外にもまだまだあるなということも実感したところでございます。今、具体的に内容を詰めて、総合的な何か協定を結ぶことも含めて準備、検討していきたいと思いますので、また皆様方それぞれの分野分野で御協力をよろしくお願いいたします。

どうぞ、後藤田委員。

○後藤田委員 関連といいますか、今のフランスと同様に関西広域連合の外交の一環で、去年、三日月広域連合長と韓国に訪問させていただきました。そのおかげといいますか、成果といいますか、去年、「済州フォーラム2024」にお邪魔させていただきました、私どもで済州特別自治道とMOUを結びました。実は今日5月29日、「済州フォーラム2025」が開催されていまして、そこに本県の徳島少年少女合唱団が招待されたということもございます。済州はもう1,300万人の観光客が来て、我が県と同じ69万、約70万弱の人口、廃棄物処理リサイクル率も8割を超えていまして、非常に先進的。インターナショナルスクールも4校あって、外国からもたくさん来ると。こういったところとの連携も始めたので、また是非何かの機会に関西広域連合の皆さんと済州ともそういう交流、人口は少ないですが1,300万の観光客が、京都はもっとかもしれませんが、そんなことも情報共有させていただきます。

○三日月広域連合長 ありがとうございます。是非大阪・関西万博も開催されてますし、関西広域連合としても積極的に世界とつながっていく取組を今後も試行をしていきたいと思いますので、よろしくお力添えをお願いいたします。

渡邊副委員、どうぞ。

○渡邊副委員 イル・ド・フランス州のペクレス議長ですが、実は滋賀で会談される2日前に大阪・関西万博のフランスのパビリオンで「フレンチテック&イノベーションDAY」という、スタートアップのイベントがございまして、私も地元の自治体として御一緒させていただきました。今、西脇副広域連合長からお話のありましたよ

うにスタートアップに非常に強い関心があったということで、来年の「Viva Technology」という、「Viva Tech」という略称もあるそうですが、こちらに関西のスタートアップ企業を招待したいというお話がございましたので、広域産業振興局でも「関西スタートアップ・エコシステム」に取り組んでおりますので、この機会を利用しまして域内のディープテックをはじめとしました有望なスタートアップを募りまして、紹介できるようにしていきたいと考えております。

これについて、おまけですけれども9月には大阪・関西万博の会場内でスタートアップ関連の「Global Startup EXPO 2025」というイベントも予定されてますので、こういった機会にスタートアップの世界への発信を、関西のスタートアップを紹介できるように世界にアピールしていきたいと考えてますので、どうぞよろしくお願いします。

○三日月広域連合長      ありがとうございます。

大阪・関西万博でもスタートアップ、ディープテック、是非発信するとともにイル・ド・フランス州との連携、招待も受けていますし、議長からは3年から4年で成果を出していけるような取組をやろうじゃないかというお申出もございますので、是非このスタートアップも重要なテーマとして内容を入れて作っていききたいと思います。

以上、ほかにないようでしたら、次の議題「関西広域連合協議会委員の改選に係る公募委員の募集について」は、説明を省略いたしまして、資料7を御覧いただければと存じます。

続きまして、「広域リージョン連携に係る国への働きかけについて」、こちらは事務局から、御説明をお願いいたします。

○本部事務局      資料8を御覧ください。

施政方針演説で示されました「広域リージョン連携」につきまして、今後、議論が具体化されるに当たりまして、国に対して広域連携に係る支援等を求めるため提言活動を実施いたしましたので、その概要を御報告します。

令和7年5月12日に三日月広域連合長から、総務省の富樫副大臣に対しまして、6つの項目について提言を行いました。

資料の2ページ目以降が提言書になります。このうち当日は、4番目の「産業力強化を目的とした広域プラットフォームへの支援」を中心に提言を行いました。副大臣からは今回の関西広域連合からの提言も含め、地方公共団体の意見を聞きながら支援スキームについて検討していきたいというコメントがありました。

報告は、以上になります。

○三日月広域連合長　　今、報告のあった内容について、何か御意見、御質問はございますか。

早速、地方創生2.0の基本構想骨子案が示されていますが、その中でも広域リージョン連携というところに「産業政策や観光など」ということで記されておりますので、関西から提案した内容について、国の様々な支援が得られるように今後、事務的にもしっかりと確認し、働きかけをしていきたいと思います。

具体的な権限の移譲とか、大きな改革というところは今回そこまでは思考されていないようですので、まずはこういった産業分野・観光分野で、広域で取り組めることがさらに進むようにという視点で我々も臨んでいきたいと思います。このテーマ、何かございますか。

ないようでしたら、確認いただいたものとし、次の「令和7年7月関西広域連合議会臨時会の開催について」は、7月5日に開催しますという、この内容を御確認いただきたいと思います。

資料配布につきましては、お手元、ネットで共有している資料を共有しておりますので、是非こちらも併せて御確認いただければと存じます。

以上で、予定した議題は全てでございますが、何かこの際、その他で御意見、御報告等、御紹介等ございますでしょうか。

ないようでしたら、以上で第177回関西広域連合委員会を終了させていただきます。

できます。ありがとうございました。

○本部事務局　　続きまして、記者会見を行わせていただきます。

御質問をお受けいたしますので、指名させていただきましたら所属・お名前をおっしゃってから御質問をいただくようお願いいたします。

御質問のある方、挙手をお願いいたします。ございませんか。

ないようでございますので、これで記者会見終了いたします。

どうもありがとうございました。

閉会　１１時５３分